

吉村 幸代

活動レポート

No. 24



吉村幸代事務所

〒399-0025 長野県松本市寿台2丁目6-11

(寿台中央商店街)

Tel&Fax.0263(58)4706

E-mail.sachiyo941@gmail.com



ホームページ



facebook

早いもので、市議3期目の折り返しを迎えました。議会の年度切り替えは5月、今年度は正副議長選挙の年です。私は、副議長選に立候補しようと決めていました。県や市の審議会で、女性活躍社会の推進に取り組むこと30年。議員30人中12人が女性という松本市議会には、女性リーダーが必須と感じています。

選挙日は5月7日(水)。所信表明を行った後に投票が行われ、私は25票を獲得して当選、内定者となりました。そして、1週間後の臨時議会において、指名推薦により副議長に就任いたしました。

松本市は、市立病院や市役所新庁舎の建設をはじめ様々な重要案件が山積状態です。中核市となった上に、コロナ禍が落ち着いて、出席会議・催事も増えています。ここから2年間は多忙を極めることとしよう。皆様、引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

第54代副議長に就任

3期目の折り返し



吉村事務所は、お祝いの花々でいっぱい！今日があるのは皆様のお陰です。



令和7年5月14日(水)
臨時議会にて副議長就任のあいさつ
「老若男女、偏りのない市民意見を伺い、市政に反映させてまいります！」

議会報告 ① 松本市議会 令和6年12月定例会

1. 「老い」ということ

- (1) このまちで老いてゆく
- (2) 公募展「老いるほど若くなる」の打ち切り決定について
- (3) 「老い」に関する市長の人生観

2. 生ごみを「ごみ」で終わらせないために

- (1) 本市の生ごみ処理の現状と推移
- (2) 欧米諸国の取り組み
- (3) 自治体がなすべきこと

3. 副市長について

- (1) 副市長に女性を起用する目的
- (2) 副市長の推進担当事業
 - ア スーパーシティ構想の総括
 - イ 脱炭素先行地域関連事業（乗鞍地域）の進捗状況
- (3) 副市長複数制に望むこと

公募展「老いるほど若くなる」の打ち切り発表には、唐突感が否めません。吉村の元に、幕切れを惜しむ方々から多くの声が寄せられました。松本市美術館の基本理念「市民に開かれた市民本位の美術館」は、どこへ!?

臥雲市政の目標「女性と若者に選ばれるまち」に、高齢男性は苦笑い。臥雲市長の人生感や高齢者施策に込めた思いを聞きました。

世界の潮流は、生ごみを資源に変えて、ごみを減らす方向に向かっています。松本市の可燃ごみに占める生ごみの割合は約半分。「生ごみの対策なくして、ごみの減量なし」です。農水省が推進する「みどりの食料システム法」は、土壌の劣化と減少が課題といえます。生ごみは、潜在的な土壌養分。それを燃やし続けることは実にもったいないことですが、日本の焼却炉数は世界一のまま、生ごみを燃やし続けているのです。

「女性副市長の起用」は、臥雲市長の公約。「女性の何にこだわり、期待するのか？女性の副市長に、具体的に何を望むのか？」「任期途中で副市長が交代する状況について、どう考えているか？市長3期目を視野に入れ、性別にこだわるのを封印してはどうか？」と市長に直球を投げました。宮之本副市長（当時）には、陣頭指揮をとってきた大事業について、総括と展望を聞きました。後日、宮之本副市長と伊佐治教育長が辞職。次の定例会（令和7年2月議会）では、伊佐治氏を副市長にすえる人事案を巡り、反対者登壇や起立採決という前代未聞の事態が起きたのでした。

② 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会 令和6年11月定例会

松塩筑木曾老人福祉施設組合は、松本市、塩尻市、安曇野市、東筑摩郡（麻績村・筑北村・生坂村・山形村・朝日村）、木曾郡（木祖村・木曾町・王滝村・上松町・大桑村・南木曾町）の14市町村で構成する一部事務組合（特別地方公共団体）で、特別養護老人ホームの設置・運営管理と、介護に関わる職員の人材育成に関する事務を共同処理しています。管理自治体は塩尻市。吉村は当時、この組合議会の副議長でした。

組合は、「岡田の里」をはじめとする特養10施設を運営しています。ここへきて、職員（介護人材）不足により、入居者を定員まで受け入れることのできない施設が出てきました。入居者減少は収入減。物価高も追い打ちをかけて、経営状況は悪化の一途を辿っています。

具体的に進んでいた四賀福寿荘の大規模改築計画は頓挫しました。財政調整基金の取り崩しも始まり、このまま行くと、令和9年度には予算が組めない状況になってしまいます。

木曾郡の議員からは、全施設の存続を強く願う意見・要望が出されていますが、木曾地方では医師不足という課題もあり、より深刻な状況に陥っています。組合では、100床以上の大きな施設でないと独自運営ができないと試算しています。



吉村：構成市町村の代表者各位は、この状況をどのように受け止め、これからどうしていったら良いとお考えですか？

塩尻市・百瀬市長：10施設を同じ船に乗せて漕ぎ出していくと、安定経営という対岸に辿り着くのは厳しい。施設を選ばないと、10施設全部が沈んでしまいます。



吉村：特養は、社会のセーフティネットの意味を持つ重要な老人福祉施設。総力結集で守り抜かねば！「腹八分目」と言いますが、「腹七分目」が必要な時代かも。

古稀を迎えた。同じ年齢の著名人には、ユーミンこと松任谷由美さん、かつて「17歳」を歌った南沙織さん、ジ・アルフィーの高見沢俊彦・坂崎幸之助両氏、俳優の石田純一氏、アナウンサーの古館伊知郎氏がいる。日本大学の理事長を務める作家の林真理子さんも同じ歳、凶弾に倒れた安倍晋三元首相も存命であれば古稀。

中国の詩人・杜甫の詩の二節「人生七十古来稀なり」に由来する古稀・70歳であるが、こうして見回すと、決して稀なことではない上に、高齢者と呼ぶにはあまりに若々しいではないか。

先日はテレビで、70歳以上のドライバーを300人雇用しているタクシー会社が紹介されていた。元気な高齢者の社会的活用は課題であるぞつな。

かくいつ私自身も、医者要らずの薬要らず。よく食べて、よく眠る。検診を受ける前夜以外、年に364日は日本酒で乾杯。週に1晩か2晩は和太鼓の稽古に励み、松本マラソンや松本あめ市で演奏しては、太鼓連の打ち上げ会で盛大に乾杯。春夏秋冬の休日、もっぱら草取りに汗をかく。

70歳になって嬉しいことは、福

祉入浴券をもらい銭湯に200円で入れること、宴会帰りのバスに100円で乗れること。「松本市民で良かったな」と幸せを噛みしめる。

先日は松本市美術館へ、話題の公募展「老いるほど若くなる」を観に出かけた。70歳以上ということだけを応募条件とする同展は、高齢化社会が進展し、70歳以上を一括りとした年齢設定が時代に合わなくなったとかいう理由で、20

吉村コラム ちやぶ台も勉強机 命を輝かせて生きる

年の歴史に幕を下ろすといふ。「何のこっちゃ!?!」私には、終幕理由の意味が分からない。

前回の公募パンフレットには、「年齢を重ねたからこそ描ける世界をご紹介する展覧会を目指して」とした上で、「年齢は限界ではなくスタートに立つための唯一の資格であり、特権でもありません」と書いてあった。こちらはよく分かる。分かるどころか、感動的だ。会場には、北は北海道から南は

沖縄県まで、全国から寄せられた全ての応募作品300作が展示されていた。90代が16作。氏名あいうえお順に、年齢や県名、作者のコメントも添えられていて、ついつい感じ入りながら見入った。

絵を描くことは、人生を見つめ、表現して伝え、残すことであり、観る側にとつては、人生に想いを馳せることだと思ふ。それは、生きることに、そのものではないか。

小学生は成長して中学生、高校生、成人となっていくが、70歳以



上の人は、生きている限り永遠に70歳以上なのである。命ある限り出品したいと願うことは、尊いではないか。

私が寿台公民館長を務めていた折に、地区の敬老祝賀会で、高齢者クラブの会長が印象的な謝辞を述べた。「限りあるその日まで、命輝く老人として生きていきたい。」自らが「老い」と向き合う身になった今、私は日々その言葉を反芻している。

編集後記

男子(のみの)普通選挙法の制定は1925年。婦人運動家の市川房枝曰く「この日は、女性から参政権が奪われた日」。それから100年後の今年、吉村市議は、普通選挙発祥の地である松本市の市議会副議長に就いた。先人たちの苦心惨憺たる努力の末の重責。なぜ議会に女性が必要か、自らの原点に立ち返り、肝に命じて行動せねばならない。▼「業界の常識は世間の非常識」という言葉がある。とかく市民感覚と乖離しがちな役人意識や、人の財布への無責任には、鍋を叩いて警鐘を。「水道管はボロイままで、博物館に大金使って大丈夫かい?」おばちゃんに率直さが命。▼体調不良が増えた40代の今日この頃。ついに更年期か、トホホ。人は弱者として生まれ、弱者として死ぬ。人の手を借りない時期は人生の一瞬だ。「国政や県政、大きな政治の流れの中で、もれてしまった人を救う市政を!」と主張していた、吉村の立候補演説が懐かしい。松本のサッカーに大きく期待!(結城子)



▲ 6/8(土) 全日本プロレス青柳優馬選手の応援
松本市内田出身 祝デビュー10周年



▲ 7/ 25(木) 深志神社例大祭
本町4丁目の舞台曳き回し



8/2(金) 委員会視察を終えて▲
九州から帰着 in 松本空港



▲ 9/27(金) サロン千歳屋開講
「山麿仕込みを知る」 in 吉村幸代事務所



10/1(火・日本酒の日) 発売!
オリジナル清酒「寿一番星」第8弾



▲ 11/12(日) 松本マラソン2024
和太鼓で沿道応援演奏

寿台をランナーたちが駆け抜ける



◀10/20(日) 松本深志ライオンズ
クラブ「ハロウィンイベント」

吉村事務所に集まった大量の
エコキャップを届ける



▲ 12/8(日) 古城会
国宝松本城の
しめ縄作り



▼ 2025年1/11(土) 松本歯科医師会新年祝賀会



▲ 1/12(日) 松本あめ市に初登場
伊勢町交差点で和太鼓演奏